

<p>学校目標 学校経営方針（中期経営目標）</p>	<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>本年度学校経営の重点 （短期経営目標）</p>
<p><b>自立につながる自律の力の育成</b> （授業を大切にし、生徒の能力を最大限に伸ばして、進路を確保する）</p> <p>1 基礎学力の充実に努め、中途退学や原級留置等の解消を図る。</p> <p>2 人間の尊厳という観点に立ち、人格形成を目指し、指導体制を確立し、組織的・計画的な指導を推進する。</p> <p>3 人権・帰国子女教育の推進を図ると共に全ての生徒の進路実現を図る。</p> <p><b>学校評議員からの提言</b> 定時制教育の充実について（就労支援に基づく修学保障）</p> <p>多様化する生徒一人一人の実態に即した適切な指導を、家庭、職場、中学校、関係諸機関、地域社会等と連携を図りながら、全教職員が一体となって進めてほしい。働きながら学ぶことの意義を粘り強く指導するとともに、働きながら学ぶことを積極的に支援する体制を充実させて、生徒の就労・修学の促進を引き続き図ってほしい。</p> <p>生徒一人一人の就労実態を定期的に把握し、就労相談を適切に実施するとともに、公共職業安定所及び関係企業と緊密な連携を図りながら就労支援を進めて、就労と学習の規則正しい生活習慣を身に付けさせてほしい。卒業後のより安定した雇用の確保に向けて、職場開拓を積極的に進めながら、定時制教育への理解を高めてほしい。</p>	<p>成果</p> <p>1 平成22年度の卒業生は進級者32名全員が卒業した。</p> <p>2 校時変更の試行を終え、本格実施を開始した。</p> <p>3 敷地内全面禁煙に加えて立ち番指導によりトイレでの喫煙が皆無になり定着した。</p> <p>4 通学安全指導の徹底により、登校時における国道横断が無くなり定着している。年度途中のコンビニの開店にも的確に対応できた。</p> <p>5 校舎内での上履き指導に関して徹底できていない場面もある。</p> <p>6 学習環境向上のため、授業中の携帯電話指導に関するルールを設定した。</p> <p>課題（自立につながる自己コントロール能力の育成）</p> <p>1 授業を大切にし、集中力を付ける指導の充実。 （授業中の私語、携帯電話の使用、飲食の禁止の定着）</p> <p>2 就労支援を積極的に行い学習との規則正しい生活習慣を確立する。</p> <p>3 途中退学者を出さないきめ細かな指導の徹底。</p> <p>4 力をつけて全員を単位認定できる指導の徹底。</p> <p>5 復学生徒が必ず進級・卒業できる指導の徹底。</p> <p>6 進路希望実現のための見通しを持ったきめ細かな丁寧な指導の徹底。</p> <p>7 敷地内全面禁煙指導を含め特別指導を減少させる指導の徹底。</p> <p>8 多様な生徒の現状に対応する評価方法の確立</p> <p>平成23年度は、学校評議員会の提言に基づき、多様化する生徒の一人ひとりの実態に即した適切な指導を、家庭、職場、中学校、関係諸機関、地域社会との連携を図りながら、進めるとともに生徒の就労と学習の規則正しい生活習慣を身に付けさせることを目標とする。</p>	<p>1 基礎学力を重視し、確かな学力を付ける。個別指導を重視する。授業中携帯電話は使わせない。</p> <p>2 就労支援会議を中心に生徒の就労状況の把握及び就労支援を行い、就労率の上昇を図る。</p> <p>3 中国帰国孤児子女受入校として、日本における学校教育のルールを身につけさせる。日本語を話せるように指導する。</p> <p>4 特別支援の必要な生徒について、教育的ニーズに応じた適切な教育計画を作成するなど指導の方法を確立し、自立して社会参加する資質や能力を育てる。</p> <p>5 きめ細かな指導と早めの指導を心がける。</p> <p>6 進路希望実現に対応できる実力を育成する。就職・進学を昨年より伸ばす</p> <p>7 一人一人の生徒が生き生きと登校し心の触れ合いが持てる学校を目指すと共に、教職員自らが充実した教育活動を遂行出来る教育環境を目指す。</p> <p>8 多様な生徒に対応し、わかりやすい評価方法の確立を目指す。</p> <p>9 新指導要領の実施をふまえ、生徒の実態にあった教育課程の作成をする。</p>